



道徳通信

No. 1

平成27年6月12日発行
道徳教育推進委員会

「明日への扉Ⅱ」について

遅くなりましたが、千葉県教育委員会作成の道徳読み物教材集「明日への扉Ⅱ」の、第1学年各クラスでの活用に向けての準備が整いました。職員室ガラスボード脇に、クラスごとに箱に入れて仕訳してあります。

平成24年度作成「明日への扉」と同様に、担任保管で対応願います。

この教材は平成26年度末に県内の公立高等学校各校に配付されたものです。21の題材で構成されています。

1年生の各クラス担任におかれましては、7月以降のLHRを活用した道徳授業の実施の準備をお願いします。



※サーバーに、指導例等の電子データのアップロード行いました。適宜、御活用ください。

※収録されている題材

「スポーツの力・佐藤真海」
「「自分」に挑む」
「魔法使いの少年」など

※興味のある先生方には、教員用もごございますので適宜貸し出しをいたします。その際には貸出簿への記入をお願いします。

先進校の実践から学ぶ (その1) 市川工業高等学校

先日行われた、道徳教育推進教師対象の研修会において、平成26年度研究指定校であった、市川工業高等学校の研究実践報告書が配付されました。

本校同様、工業高校として実践に取り組んだ市川工業の報告書は示唆に富むものでした。

特に、全体計画中の重点目標の中に、工業高校ならではの目標が、明示されています。

該当部分を以下に引用しますが、本校でも同様の視点での取組が実践できるものと考えられます。

道徳教育の重点目標

③ものづくりをとおして、勤労の意義や尊さを理解し、公共の福祉と社会の発展に寄与することのできる生徒を育成する。

市川工業高等学校では、道徳教育のメインテーマを「技術者倫理」とし、授業を展開しています。

これは、これからの社会及び企業が求める質の高いものづくりには、より革新的な技術力に併せて、時代に即した倫理観の醸成が不可欠であるという理念に基づくものです。

報告書を御覧になりたい方は担当までお問い合わせください。(文責 岐山)



※次回は八街高等学校を取り上げる予定です。